

危険物新聞

第 5 3 5 号
 発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
 編集 松 村 光 惟
 発行人
 大阪市西区新町1丁目5-7
 四つ橋ビル
 TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0
 定価 1部 60円

第 2 回 危険物取扱者試験 10月11日(日)、近大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成10年度第2回危険物取扱者試験を10月11日(日)、東大阪市の近畿大学で次のとおり実施する。

試験日	10月11日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	近畿大学(東大阪市)
願書受付日	9月16日(水)、17日(木)
願書受付場所	大阪府職員会館(新別館・北館4F) (地下鉄「谷町4丁目」下車、1A出口スグ)

※試験当日の試験会場集合時間は、午前は9時30分、午後は1時となっている。

受験準備講習会は府下10会場で 甲種、乙種4類、丙種について

受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、堺、枚方、東大阪、高槻など府下10会場で別掲(8頁参照)のとおり実施する。
 なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引になるので、申込時に学生証を提示のこと。

土曜・日曜コースは2日間で開催 電話予約始まる

土曜コース・日曜コース(両コース共、定員140名)は、希望者が多数のため、電話による予約を行なっている。受講希望者は、電話(06-531-9717)で9月11日(ただし、満席になり次第締切り)までに予約されたい。

規制緩和によるセルフSS 設置、徐々に進む

規制緩和の一つに、セルフサービスガソリンスタンド(顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所)が4月1日から設置できるようになったが、日本人の長い慣習と、安全面での多額の設備費により、期待したほどの設置は進んでいないようである。
 消防庁では4月30日現在で、全国消防機関によりその計画、設置の進捗状況を調査したが、

- ・完成検査実施済……………11件
- ・許可済(工事中又は計画中与みられもの)……7件
- ・審査中……………9件
- ・事前相談中……………25件であった。



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市相模田道3-5 TEL. (0720)56-1281(F)
東京本社 〒105 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロス(ロスマシソン)です。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにある。

平成9年度 危険物取扱者試験結果 合格率・20歳未満が最も低い

今般、財消防試験研究センターより、平成9年度の全国で実施された危険物取扱者試験の実施結果について発表された。これによると9年度の試験概要は次のとおりである。

1. 受験者減少する

平成9年度は、前年度に引き続き、景気が悪く、若年層の人口減少、危険物施設の減少、関係要員のリストラ等、受験者は平成7年度、8年度と比較し通減している。

申請者数、受験者数を免状別にみると表1のとおりである。

甲種だけは若干増加しているが、乙種、丙種共に減少し、3種合せて差引、前年度比申請者数で、約3万名減少となっている。

(表1)危険物取扱者試験・申請者：受験者数

年度	人数区分	甲種	乙種	丙種	合計
平8	申請者	18,836	445,584	100,130	564,550
	受験者	17,265	411,576	93,531	522,372
平9	申請者	19,567	421,972	92,146	533,685
	受験者	17,763	389,182	85,859	492,804
前年差	申請者	731	-23,612	-7,984	-30,865
	受験者	498	-22,394	-7,672	-29,568

2. 試験の回数

大阪では年間4回であるが、全国的にみると、東京の常設試験場を中心に、昨年度は、甲種122回、乙種各類合計955回、丙種198回、延1,275回実施されている。

3. 区分別受験申請者の状況と欠席率

区分別受給者の数を申請者数でみると、表2のとおりで、平成8年、9年度では区分別比率は殆んど同じで、乙種第4類が66.7%と圧倒的に多く、次に丙種の17.3%で、甲種は3.7%である。

(表2)危険物取扱者試験申請種類別状況

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			1類	2類	3類	4類	5類	6類	乙種計		
平8	申請者(人)	18,836	11,152	12,963	10,108	385,057	11,654	14,650	445,584	100,130	564,550
	構成比(%)	3.4	2.0	2.2	1.8	68.2	2.0	2.6	78.9	17.7	100
平9	申請者(人)	19,567	12,555	14,391	11,313	356,016	12,256	15,441	421,972	92,146	533,685
	構成比(%)	3.7	2.4	2.7	2.1	66.7	2.3	2.9	79.1	17.3	100
前年差(人)		731	1,403	1,428	1,205	-29,041	602	791	-23,612	-7,984	-30,865

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

(表 3) 危険物取扱者試験申請者と受験者の割合(出席率)

(単位、%)

種 類	甲 種	乙 4	丙 種	全 体
平 8	91.7	91.6	93.4	92.5
平 9	90.8	91.3	92.2	92.3

(注)乙4 以外省略

申請者数は受験申請をした者の数で、受験者はそのうち実際に受験した者で、その差が欠席者となり、申請者と受験者の割合が出席率となる。

欠席者の多いのは、甲種と乙4で、次に丙種、乙種の4類以外は極めて出席率が高い。

一般的に、申請手続きをして、数週間後に受験するケースのこの種の試験では、病気、出張等の理由で欠席率は約3~4%といわれているが、甲、乙4、丙の3種類は常識外に欠席者が多いようである。

4. 合格率

平成9年度の合格率は、甲種(33.2%)、乙種4類(32.4%)、丙種(50.1%)で、表4のとおり、過去2年とはほぼ同様の結果がでている。

(表 4) 危険物取扱者試験; 平 7、平 8、平 9 合格率

年 度	区 分	甲 種	乙種4種	丙 種	合 計
平 7	受験者	16,887	376,601	99,976	545,124
	合格率	32.6%	33.3%	52.0%	39.5%
平 8	受験者	17,265	352,756	93,531	522,372
	合格率	30.3%	32.1%	51.4%	39.2%
平 9	受験者	17,763	325,039	85,859	492,804
	合格率	33.2%	32.4%	50.1%	39.6%

(注)乙4 以外省略

乙種4類以外の各類は、各類とも60%~70%前後で好成績をあげている。これは、4類以外の各類受験者は、既得免状所有者が多く、いきおい科目免除者が多いことや、化学工場従業員が比較的多いことが主な理

由と考えられる。

それにしても過去3年間平均合格率が約39%と一定していることは、各年度の試験問題の難易度が一定水準を保持されている証左であって、試験委員各先生方の普遍的な識見と、試験問題作成担当者の神技的な能力におどろかざるを得ない。

5. 受験者年代別の受験状況

表5は受験者の年代別、区分別の受験状況一覧表で、申請者数からみると20代未満者が過半数を占めているが、その理由は受験者に高校生が極めて多いからである。

(表 5) 年代別; 申請者数・合格率

年 代	人数区分	甲 種	乙 4	丙 種	合 計	申請者別 構成比%
20代未満	申請者	83	175,189	77,143	294,967	52.3
	合格率	12.3	21.0	46.1	33.3	
20代	申請者	12,634	107,102	7,588	138,599	26.0
	合格率	35.5	39.4	68.5	43.3	
30代	申請者	4,359	38,214	3,375	51,975	9.7
	合格率	32.5	50.1	77.1	53.3	
40代	申請者	1,953	24,410	2,428	33,159	6.2
	合格率	21.5	50.2	76.2	53.9	
50代	申請者	466	9,559	1,289	12,922	2.4
	合格率	32.6	52.1	70.1	55.7	
60代	申請者	71	1,504	313	2,013	0.4
	合格率	16.7	58.2	71.5	59.5	
70代以上	申請者	1	38	10	50	-
	合格率	0.0	43.8	55.6	47.6	
合 計	申請者	19,567	356,016	92,146	533,685	100.0
	合格率	33.2	32.4	50.1	39.6	

平成9年中の受験者492,804名(内、乙種4類325,039名、丙種85,859名)中高校が248,454名と全受験者の46.6%とほぼ半数を占めている。表5からみると20歳未満の受験者中、約90%が高校生であるがその合格率が、乙種4類で21%、丙種で46%と平均より非常に悪い。勉強が本業の高校生の成績が最も悪いのは、今の、乙種4類、丙種の試験レベルからみて、努力と合格意欲に欠けているか想像できる。

(以上、“消防試験センターだより”より)

普通消防ポンプ車
MX-1

消防そして救助。
災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフ&ワイドウインド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤ
- 吸管、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納

MURITA

株式会社モリタ

本社/〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL(06)756-0110 FAX(06)754-3461




都道府県別による危険物取扱者試験合格率(%)

(平成8年4月1日から平成9年3月31日まで)

都道府県名	区分	甲 種	乙 種						丙 種
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	
北海道	道	22.8	67.5	59.7	64.6	27.7	73.4	54.4	57.3
	青森	14.6	78.0	60.8	71.1	26.7	66.3	38.4	45.7
	岩手	16.7	77.1	64.4	59.6	25.7	68.5	43.8	46.6
	宮城	30.9	85.8	52.0	66.4	30.6	77.2	58.4	47.9
	秋田	27.8	78.1	55.2	55.9	20.9	63.7	48.9	44.2
	山形	19.7	65.9	51.8	93.8	34.4	85.5	50.0	55.1
茨城県	福島	16.7	70.2	49.5	55.9	25.1	64.9	47.4	40.3
	茨城	36.6	70.8	51.0	64.9	28.4	69.8	48.4	40.7
	栃木	24.8	70.6	74.5	84.6	28.7	63.9	57.1	56.4
	群馬	22.8	73.1	64.7	74.3	34.2	80.8	66.0	54.8
	埼玉	30.1	83.1	69.5	72.6	38.7	92.2	73.9	62.3
	千葉	29.6	80.5	70.6	79.3	33.5	75.8	63.1	62.0
東京都	東京	40.0	88.8	72.4	79.7	49.7	79.9	72.6	65.8
	神奈川	34.3	82.8	64.4	74.4	38.1	60.5	52.8	62.1
	新潟	31.8	76.9	77.4	58.3	27.7	74.0	57.6	42.8
	富山	31.8	61.4	48.5	58.1	32.1	59.3	47.4	62.2
	石川	27.6	74.1	65.6	59.3	29.3	70.7	53.5	54.0
	福井	27.2	66.4	47.0	60.2	32.0	60.2	50.4	58.5
山梨県	山梨	24.7	70.5	62.1	65.9	28.1	60.4	56.8	44.4
	長野	33.1	61.9	50.8	61.3	28.7	68.0	48.4	53.1
	岐阜	28.8	80.1	58.1	71.0	29.1	67.2	57.6	53.7
	静岡県	24.8	74.9	67.7	73.0	28.8	71.0	48.7	47.0
	愛知県	23.6	73.4	53.6	66.4	35.1	61.4	60.5	56.0
	三重	35.4	69.2	54.3	52.2	30.9	67.0	50.4	51.3
滋賀県	滋賀	32.1	66.4	52.8	56.1	29.3	55.8	51.0	46.9
	京都	39.2	90.8	63.5	72.0	37.8	77.8	57.4	50.6
	大阪	40.6	77.4	74.2	75.4	40.7	79.2	65.2	60.0
	兵庫	32.9	72.1	71.9	76.8	30.4	75.7	54.8	48.9
	奈良	22.5	75.0	61.3	88.9	34.2	70.6	67.6	40.9
	和歌山	26.7	58.8	79.4	77.8	29.9	72.5	52.6	44.9
鳥取県	鳥取	20.4	82.1	57.1	63.2	38.7	80.0	61.7	56.2
	島根	24.1	76.9	75.9	68.3	31.0	79.4	59.2	63.1
	岡山	22.2	67.7	59.9	62.4	26.7	60.0	44.2	35.7
	広島	24.0	75.3	63.6	72.4	35.5	74.5	64.0	46.8
	山口	30.2	76.4	54.1	72.3	31.1	73.7	59.0	44.5
	徳島	25.5	65.2	65.0	55.7	27.6	74.4	54.2	49.4
香川県	香川	24.0	69.8	56.9	73.3	34.4	61.0	53.7	54.9
	愛媛	26.8	81.6	58.3	66.4	30.4	70.0	62.2	39.4
	高知	25.5	66.0	41.5	45.3	29.3	55.4	49.5	52.2
	福岡	33.6	68.7	72.3	74.3	28.4	75.8	57.5	45.5
	佐賀	23.5	76.6	63.5	57.4	28.9	68.5	52.6	67.1
	長崎	32.4	66.9	60.2	61.6	27.6	66.3	53.6	57.8
熊本県	熊本	17.4	71.9	65.5	72.5	31.2	65.2	57.8	48.3
	大分	14.9	66.2	57.9	65.2	24.3	67.3	49.5	44.6
	宮崎	19.3	64.6	63.9	60.4	21.8	73.7	55.4	41.3
	鹿児島	28.6	75.3	62.5	84.0	26.0	70.6	52.5	45.2
	沖縄	21.1	77.8	67.2	67.2	25.2	73.0	66.7	34.9
	全 国		30.3	72.9	61.3	67.1	32.1	70.6	55.7

我社の保安対策

“震災復興から
飛躍へ”

〈茨木市〉

〈株神戸製鋼所 茨木工場〉

1. はじめに

当社は、1905年9月神戸市の脇浜に鑄鍛鋼工場として誕生し、わが国初的高速エンジンや、第一号の国産電気ショベルを制作するなど、複合企業体への歩みを早くからスタートしています。

現在では、「鉄鋼・溶接」「アルミ・銅」「機械エンジニアリング」各事業部に「電子・情報」を加え、それぞれが最先端の活動を行いながら、技術・システム・ノウハウを互いにバックアップし、地球規模で社会に貢献する企業活動を展開しています。

茨木工場は、1961年に操業を開始して以来、当社溶接事業部の主力工場として、主に「フラックス入りワイヤ」、「被覆アーク溶接棒」を生産しており、特に「フラックス入りワイヤ」の生産量は、国内消費量の60%におよび、国内はもとより、世界でもトップクラスの工場として、日々生産活動を展開しています。

2. 安全衛生活動

当工場では、総括安全衛生管理者（工場長）以下、各部門に於いて、安全衛生管理者、安全衛生専門指導員、安全衛生指導員、安全衛生委員等を任命し、ライン組織にて日常の安全衛生管理の徹底と設備改善の充実強化に努めています。

特に、安全操業のためには、従業員全員が安全・防災に対する意識を持つと同時に、5Sの推進を図ることが災害を起こさない第一条件であり、それぞれも職場での「危険予知活動・類似災害の事例研究および水平展開」を積極的に行い、災害の防止に努めています。

又、設備の新設・増設の際には、「セフティアセメント」を策定し、安全衛生管理者、安全衛生専門指導員以下設備審査委員を選任して、安全装置から手摺・階段の寸法に至るまでチェックして、潜在危険要因を事前に排除し、事故・災害を未然に防止するために、安全審査を実施しています。

3. 防災管理活動

当社は、阪神淡路大震災により1,000億円の被害を被りまさに自然災害の恐ろしさを身をもって痛感しました。

従って、この時の教訓を忘れることなく今後の防災管理活動に生かしていくために、毎年1月17日を「当社の防災の日」と定め、全社一斉に防災訓練を実施するなど、防災意識の向上に取り組んでいます。

又、当工場に於いても、全社防災管理方針に沿った独自の防災管理方針および重点実施項目を毎年始めに策定し、計画的に防災管理活動に取り組んでいます。

※1998年の防災重点実施項目としては

- ① 災害危険要因の抽出と撲滅
 - ・工場内重要設備の点検とフォロー
 - ・危険物取り扱い作業の改善と教育の実施
- ② 火気使用工事に伴う災害防止対策の強化
 - ・火気使用工事の火気管理体制の見直し・強化
- ③ 異常状態への対応力の強化
 - ・消防設備、機器の操作方法の再教育・訓練の実施
 - ・防災規程等の標準類の見直し・整備
- ④ 自然災害への対応力の強化
 - ・防災資機材の点検・整備
 - ・地震防災訓練の実施

以上の項目となっております。

本年の特記すべき事項は、当工場では幸いにして火災が無かったものの、昨年他社に於いては工場火災による操業停止の重大事故が発生し、社会的、経済的にも大きな影響が出た事に留意して、特に火気使用工事に対しては、工事案件毎に、工事元請け業者は「火気作業許可申請書」に作業内容・火気器具の種類・防火対策を立案して防災管理部門へ提出し、入念な打合せを実施したうえで、安全管理者の許可を得て工事を着工しています。

又、日々の火気使用工事の中で、工事責任者は火気作業終了の1時間後に必ず火元確認を行い、チェックシートに記入し、防災管理部門へ提出する事を義務付け、火気管理に対して気を付けています。

4. 異常事態への対策

当工場では、製造工程中に危険物第4類第2石油類、動植物油類および第2類金属粉及びマグネシウム粉を使用しているため、万が一災害が発生した場合を想定してハロン消火設備・二酸化炭素消火設備・泡消火設

備・ドレンチャー消火設備等、種々の消火設備また警報設備を設置しています。

これらの設備は年 2 回の法定点検に加え、定期的に月例点検を実施して、常に機能が正常に発揮出来るように心掛けています。

又、設備は完全であっても使いこなせないと何にもならないことから、消防設備操作標準を制定して、誰でも確実に操作出来るように、繰り返し教育訓練を実施しています。

5. 防災訓練

当工場は、2 直 2 班体制の操業を行っており、「夜間の災害発生時でも昼間と同様の行動が出来るか」と言う点に注力しながら、昼間は勿論のこと夜勤時に於いても通報訓練・避難訓練・救助訓練を実施しています。

6. おわりに

当工場の安全防災活動の一部を紹介させて頂きましたが、工場周辺には近年高層マンションが立ち並び、危険物施設における火災、漏洩事故は人命や周辺の地域や環境に与える影響は大きく、安全・防災管理にはこれで良いと言う終わりが無く、「安全は全てに優先する」のトップ方針の基に、今後とも全員参加で、ゼロ災職場の継続により一層の努力を続けて行く所存であります。

最後になりましたが、危険物の安全確保および自衛消防隊の教育訓練について、常日頃からお指導、ご教示を頂いております茨木市消防本部ならびに松ヶ本分署の皆様には、紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

イエローカード (緊急時の連絡カード)

危険物等の移送(タンクローリー)又は運搬(容器入りのもので、トラック等)途中で、事故等が発生した場合、乗務員の適切な初期対応措置や、消防機関等に対する適切な情報を提供することが重要である。

そこで積載危険物等の品名、性状、異状時の措置法消火法等を簡単明瞭に記載した緊急時の連絡カードを積載することになり、判り易いように黄色の用紙を使用しているの、通称「イエローカード」とよばれている。

これは、(社)日本化学工業協会が、自主的に作成したものであるが、消防庁でも、運搬、移送中における事故時の措置連絡マニュアルとして非常に適切なものであると、イエローカードの積載を推奨している。

イエローカード作成の経緯は、危険物等の化学工業薬品の自己責任にもとづく自主管理、(レスポンシブル・ケア)、MSDS(化成品の安全データシート)が背景となっている。

日、米、欧の化学工業界では、化成品の開発、製造、流通はもとより、廃棄処分にいたるまで、環境保全、安全衛生、保安防災を推進、実行していこうと、自己責任のもとに自主管理をする活動で、「レスポンシブル・ケア」とよんでいる。

現在では42ヶ国の約 5 千数百社の企業が加盟し、「レスポンシブル・ケア」の情報交換や共通課題の研究発表討議等を定例的に開催し、レベルアップに努めている。わが国でも(社)日本化学工業協会が中心となって現在約100近くの化学会社が加盟し、日本レスポンシブル・ケア協議会を設立し、本活動を推進している。

天然素材で環境にやさしい!!

油吸着材

オイルファスター

環境保全が重要なテーマとなった今日、
オイルファスターは、時代のニーズにこたえます。

特長

- 抜群の吸着力とすぐれた補捉力。
- うれしいコストパフォーマンス。
- 長期保管が可能。
- 焼却処分も安心。

用途

- 工場の側溝・油水分離槽の浮上油回収。
- 機械廻り・通路の漏油回収。
- 排水のろ過材として。
- 海上・河川の流出油回収。



大阪ヒューズ株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目2番6号
TEL(06)241-1908(代) FAX(06)241-1904

一方、米国の労働安全衛生局によりMSDS (Material Safety Data Sheet; 製品安全データシート) の制度が始められ、ILO (国際労働機関) でも1990年にこの制度を含む条約が採択され、グローバルな問題として各国でも導入している。(わが国では現在検討中で、法的には批准されていない。)

そこで、(社)日本化学工業協会が中心となり、1990年頃から、厚生省や消防庁の指導助言を求めながらその整備普及につとめている。

ところがMSDSには数多くのデータが掲載されているので、輸送途中、このデータを車両等に備えていても、万一事故の際、適切な初期対応や関係機関等への情報提供ができ難いのが現状である。そこで日化協では、輸送時における事故発生の際、一目でその化成品の性状、危険性、消火法、その他緊急時の対応措置が適格に理解できるようカード式とし、またその所在がすぐ判るようイエロー色にしたものを緊急連絡カード (通称イエローカード) として、輸送用車両に備えつけるよう推進している。これはとりもなおさず、前述のレスポンスブル・ケアの一環として、流通過程における自己責任のもとで安全管理、事故時の迅速な処理ができるよう、各社の責任のもと関係運輸機関にイエローカードの携行を指導している。

消防庁危険物規制課でも、平成7年11月13日付で、都道府県を通じ、この制度の普及促進をすすめている。

イエローカードそのものは、化成品の種類が多いので、日化協では様式や約20品種についての記載例を示しているが、高圧ガス保安法の改正や、昨年、静岡県下の東名高速での脂肪酸クロライド積載タンクローリー横転事故例もあり、一部見直しが行われ、今秋改訂版が発行される予定である。

【イエローカード等収納ケース作成】
堺市高石市危険物運輸協議会で


タンクローリーには、完成検査済証、定期点検記録等の書類を備えつけるよう危政令で定められているがイエローカードも同じ収納ケースに収納しておいた方が、管理もしやすく、移送時の事故時も被害の軽減、防止に役立つので、イエローカード収納ケースを、堺市高石市危険物運輸協議会が堺市高石市消防本部の指導により作成した。

生地は布製であるが防炎処理加工し、もちろん色はイエローで黒の縁とり、ケース上部には反射シートも貼付され、両面テープとマジックテープで車両のどこにでも取り付けられるよう工夫されている。(35センチ×30センチ、ファスナー付)

なお、本品は実費頒布するので購入希望者は、本会(06-531-9717)へ連絡されたい。

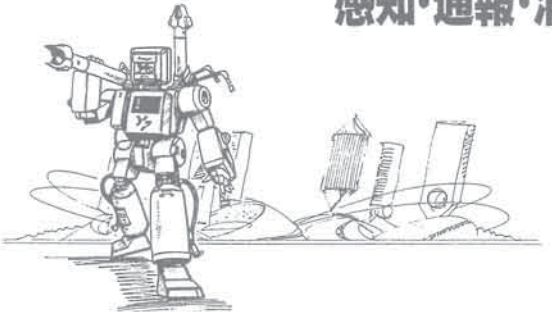


収納ケース；地は黄色で、文字・縁どりは黒色



AMATEC ROTEC
ロテクとアムテック

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・さらに...



防火設備は、そのままに防炎機器や
感煙器を設置するだけでは、火災の
発生を防げません。早期発見・早期
消火が、火災の被害を軽減する
重要なポイントです。

目的に沿った防火機器の研究開発を
行っており、最新の防火機器を
取り扱っています。

防火機器の取付・点検・保守
も承ります。

AMATEC ROTEC
の防火機器は、最新の防火機器
を取り扱っています。

アマテック株式会社

本社 〒537 大阪市東区茨江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

危険物取扱者準備講習のご案内

平成10年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場	
甲種	9月18日(金)、9月21日(月)、9月25日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)	
乙種4類	1期	9月21日(月)、9月22日(火)	大阪府商工会館	
	2期	9月28日(月)、9月29日(火)	大阪府商工会館	
	3期	9月29日(火)、9月30日(水)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)	
	4期	9月17日(木)、9月18日(金)	北河内(枚方)府民センター (京阪・枚方市駅ヨリ約5分)	
	5期	9月24日(木)、9月25日(金)	東大阪市民会館 (近鉄奈良線・永和駅ヨリスグ)	
	6期	9月30日(水)、10月1日(木)	高槻市消防本部 (JR・阪急高槻駅ヨリ10分)	
	土曜コース	9月19日(土)、9月26日(土)	9時10分～16時	大阪府商工会館
	日曜コース	9月20日(日)、9月27日(日)	9時30分～16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)
丙種	10月1日(木)	9時～16時	大阪府商工会館	

(注)甲種は3日間で、乙種(1期～6期)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会	9月3日(木) 午前10:00～12:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅ヨリ西へ10分)	岸和田市火災予防協会	9月4日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	9月4日(金) 午後2:00～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協会	9月7日(月) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会	9月7日(月) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会	9月8日(火) 午前10:00～12:00
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ5分)	枚方市・寝屋川市防火協会	9月9日(水) 午前10:00～11:30
高槻市消防本部内 (JR・阪急高槻駅より10分)	高槻市火災予防協会	9月9日(水) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	9月10日(木) 午前9:30～午後4:30
		9月11日(金) (ただし、正午から40分間昼食休み)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員140名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成10年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種4類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円

(注)消費税込の料金です。